

新型コロナウイルス感染症にかかったお子様のご家族へ

子どもが新型コロナウイルス感染症にかかった場合、多くは軽症あるいは無症状ですが、具合が悪くなって受診や入院が必要になる方もいます。現在流行しているオミクロン株(BA.5)では以下のような症状を訴えるお子様が多いことから、症状別の対処法や、注意点をお知らせします。

子どもの新型コロナウイルス感染症に多い5つの症状

発熱



40℃以上の高熱が出ることもよくあります。多くは3~4日で下がりますが、1週間近く続く方もいます。元気がないときは積極的に解熱薬を使用するとよいでしょう。ぐったりしたり、熱が長く続いたりする場合には医療機関に相談しましょう。

咽頭痛



現在流行しているオミクロン株でよくみられます。のどの痛みのために水分や食事がとれない方がいます。脱水にならないように注意しましょう。

咳



痰がからまない乾いた咳が出る方が多く、それほどひどくはない印象です。鼻水を訴える方もいますが、比較的少ないです。3歳未満の子を中心に「ケンケン」とオットセイが鳴くような咳をする、クループ症候群という病気になる方もいます。子どもでは肺炎になる方はまれですが、呼吸が苦しそう、ゼーゼーするなどの状態があれば医療機関に相談してください。

けいれん



現在流行しているオミクロン株では熱性けいれんを起こす方が非常に多いです。通常の熱性けいれんを起こしやすい5歳未満だけでなく5~10歳でもけいれんを起こす方が多いです。

けいれんが5分以上続く、顔色が悪いなどあればすぐに救急車を呼んでください。

また、非常にまれですが、新型コロナウイルス感染症によって脳炎/脳症を発症する例も散見されます。けいれんで受診した後に引き続き自宅療養される場合には、意識状態に注意してお過ごしください。

吐き気 嘔吐



強い吐き気や嘔吐のために水分がとれず脱水や低血糖で入院される方もいます。通常の感染症では0~2歳くらいの小さいお子様が多いですが、新型コロナでは5~10歳くらいでも普段通りに水分がとれなくなる方がいます。

1度にたくさんの水分をとるのは大変なので、経口補水液(例: OS-1®、アクアライト®)を少しずつ何回かに分けて飲むようにして、脱水を乗り切りましょう。

水分がまったくとれずぐったりする、おしっこの量が少ないなどの状態があれば医療機関に相談してください。